

# 研修ニュース

〒518-0814 三重県伊賀市上友生 785 番地

TEL&amp;FAX : 0595 (21) 8839

E-Mail : iga-ken@iga.ed.jp



## 研修講座 B-4 「生徒指導①」を実施しました！ 「『生徒指導提要』がめざす支える生徒指導の進め方」 関西外国語大学 教授 新井 肇 さん

6月12日(金)に、「生徒指導①」の研修講座を行いました。

新井先生は、不登校やいじめなど子どもたちを取り巻く教育的課題は、「子どもの心の危機の深刻さに他ならない」と話されました。これを何とかしたいという思いで、2022年に生徒指導提要の改訂がなされたと話されました。改訂版では「排除ではなく包摂」を掲げています。「いろんな人がいてもいいよ」ではなく「いろんな人がいた方がいいんだ」という視点に立ち、共に目標に向かい取り組むからこそ、子どもたちの力が発揮され課題解決へと導かれると教えていただきました。これは子どもたちのみならず、私たち教員も然りです。受容的・支持的・相互扶助的な同僚性が、「チーム学校」としての基盤になると話されました。新井先生はその上で「今までやってきた学習指導



を、生徒指導の点から見直してみる」という「生徒指導を意識した授業づくり」を提唱されました。なぜならば「発達支持的生徒指導の最たるものが授業」であるからです。「自己存在感の感受、共感的な人間関係の育成、自己決定の場の提供、安全・安心な風土の醸成を意識した実践」【生徒指導提要・改訂版】が、子どもたちの発達を支え



るとご教示いただきました。ただこれらの実践は目新しいものではなく、伊賀市全体で進めてきた授業づくりの大切な視点に他なりません。引き続き、日々の授業の中で自己肯定感の涵養を目指しつつ、子どもたち同士をつなぐ実践を積み重ねていく大切さをご示唆いただきました。

ご参加いただいた先生方には今後の実践に活かしていただくとともに、各校で還流いただきますようお願いいたします。

### アンケートより【一部抜粋】

・「2歳でネットを使う」ということにビックリしました。そのことが言語化能力の低下につながっていることがわかりました。嫌なことがあった時に言葉で表現できないから暴力につながったり、いじめがあった時に相談できなかつたりして暴力やいじめにつながっているんだと思いました。生徒指導というのは、子どもたちの成長を支援すること、そしてチームで支援していくことが大切だとわかりました。【小】

・生徒指導は授業を通して子どもたちを見守り、また子どもたちに力をつけていくことが大切になると改めてわかりました。子どもの変化を担当だけでなく、学校全体として気づけるような体制をつくっていかねばいけないと思いました。【小】

・現在の課題を数値から読み取り、現代の傾向を詳しく知ることができ、とても勉強になる研修でした。このお話は小中学校、それ以上に幼保の保護者の方にも聞いてほしいと感じました。【中】

・「困った子は困っている子である」という言葉が印象的でした。様々な角度からアプローチを行うことで、子どもとの関係が深まると思います。関係性が深まれば、指導ではなく支援ができると思いました。自分の先入観や都合の良いデータだけで判断せず、日々生徒と向き合いたいと感じました。その姿勢があれば、未然防止、早期対応につながると感じました。【中】